

IV 飼料作物

【施肥上の一般的注意】

- (1) おがくず牛ふん堆肥を10a当たり1作、2,000～5,000kg程度、苦土石灰等を100kg～150kg程度施用し、堆肥を有効に利用する。
- (2) 土壌診断を定期的に行い、診断に基づき肥料や土壌改良資材を適切に使用する。
- (3) 堆肥を利用して施肥はできるだけ基肥で一度に施用し、化成肥料中心の場合は必要に応じて追肥を施用する。

とうもろこし

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり7,000kg収穫目標で、サイレージ利用を基本とし平坦地帯を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	15	10
計	15	15	10

3 施肥方法及び留意事項

(1) 堆肥、石灰資材等を適正に使用する。

ソルガム

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり8,000kg（2回刈）の収穫目標で、平坦地帯を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	15	10
追肥	10	0	10
計	25	15	20

3 施肥方法及び留意事項

- (1) 追肥は刈取後7日以内に施用する。
(2) 堆肥、石灰資材等を適正に使用する。

スーダングラス

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり8,000kg (2回刈) の収穫目標で、平坦地帯を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	15	10
追肥	10	0	10
計	25	15	20

3 施肥方法及び留意事項

- (1) 追肥は刈取後7日以内に施用する。
- (2) 堆肥、石灰資材等を適正に使用する。

ローズグラス

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり8,000kg (2回刈) の収穫目標で、平坦地帯を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	20	15
追肥	10	0	0
計	25	20	15

3 施肥方法及び留意事項

- (1) 追肥は刈取後7日以内に施用する。
- (2) 堆肥、石灰資材等を適正に使用する。

イタリアンライグラス

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり8,000kg（2回刈）の収穫目標で、水田裏作栽培を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	15	10
追肥	10	0	5
計	25	15	15

3 施肥方法及び留意事項

- (1) 追肥は刈取後7日以内に施用する。
- (2) 堆肥、石灰資材等を適正に施用する。

エン麦

1 施肥基準設定の基礎

10 a 当たり4,500kg収穫目標で、平坦地帯を基本とし平坦地帯を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	15	10	15
計	15	10	15

3 施肥方法及び留意事項

- (1) 堆肥、石灰資材等を適正に使用する。

混播牧草（放牧用）

1 施肥基準設定の基礎

イタリアンライグラス、オーチャードグラス、ペリニアルライグラス、トールフェスクを牧草地に混播し、10 a 当たり5,000kg（7～8回輪換放牧）を基準として設定する。

2 10 a 当たり施肥量(kg)

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O
基肥	10	15	10
追肥	10	0	5
計	20	15	15

3 施肥方法及び留意事項

- (1) 堆肥は、5,000kgを春秋2回に分施する。
- (2) 秋肥は追播時に全面散布する。
- (3) 石灰資材は、150kg程度を秋に使用する。
- (4) 追肥は移牧後分施する。

その他の飼料作物

作物 (目標収量)	施肥時期	10a 当たり施肥量 (kg)		
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
しこくびえ (6,000kg)	基 肥	1 0	1 5	1 0
	追 肥	1 0	0	0
	計	2 0	1 5	1 0
飼料イネ (専用種) (4,000kg)	基 肥	6 . 4	6 . 4	6 . 4
	追 肥	5 . 6	0	5 . 6
	計	1 2	6 . 4	1 2
飼料イネ (高糖分茎葉型 品種) (4,000kg)	基 肥	1 4 ~ 1 6	6 . 4	6 . 4
	追 肥	2 ~ 4	0	5 . 6
	計	1 8 ~ 2 0	6 . 4	1 2